

2050年のスマート“&スウィート”ライフ

～快適・便利・健康・安心、だけじゃない。新しい「しあわせのかたち」から考える2050年の暮らし～

テーマ

今からおよそ25年後、2050年はどんな暮らしをしているのでしょうか。環境問題、食料安全保障、少子高齢化等、様々な危機が叫ばれている中で、国内外、様々な分野で技術進歩が推し進められており、国も危機に対抗する大きなビジョンを掲げています。未来はきっと暗くない。スマートホーム、スマートシティ、スマートライフ・・・に代表されるように、快適で便利、健康的で安心して暮らせる日常をつくらうと、「スマートな=合理的で時代に即した暮らし」が模索されています。

一方で、現在の延長線上に想定できる未来からは想像もつかないような新しいライフスタイルが生まれ、人間の新たな生きがいや欲求、人間関係、つまり「しあわせのかたち」までもが一変しているのではないのでしょうか。「スマート=合理性」の価値観だけではなく「スウィート=合理的でなくとも、心地よく愛らしい」価値観を踏まえた、未来の人間のしあわせを叶える暮らしが必要です。

今回のプロフェッショナルデザインキャンプでは
新しい「しあわせのかたち」から、未来の暮らしのあり方を考えたい。

今回のデザインキャンプでは、こうしたテーマのもと、未来に関する情報やトレンドを収集するだけでなく、社会心理・文化心理の専門家からも現状の取り組みや未来の見立て・課題を聞き、ワークショップを通して参加者が協力し、知見を結集しあいながら、これから生まれる新しい「しあわせのかたち」と、それを叶える「2050年の暮らしの在り方」を発想。

未来洞察を起点とした共創プロセスは、様々な領域で応用でき、皆様のお役に立つものと考えています。ぜひ、ご参加ください。

(テーマ協力：シャープ株式会社)

講師



未来社会の「しあわせ」を考える

内田 由紀子 Yukiko Uchida / 京都大学 人と社会の未来研究院 院長・教授

京都大学教育学部卒業、大学院人間・環境学研究所博士課程修了。博士(人間・環境学)。専門は文化心理学・社会心理学。ミシガン大学、スタンフォード大学の客員研究員等を経て、2008年より京都大学の教員として研究活動に従事。2019年より教授。2023年より人と社会の未来研究院の院長。国際的な研究活動とともに、内閣府における幸福度についての研究会委員(2010-2013)、文部科学省中央教育審議会委員(2021年より)などを歴任し、日本のウェルビーイング政策にも携わる。

ファシリテート (株)博報堂 関西支社

カリキュラム

PRE // 7/25 Thu 14:30~17:30	DAY1 // 8/5 Mon 9:30~17:30	DAY2 // 8/6 Thu 9:30~17:30
オープニングセッション ・ ガイダンス ・ 講師セミナー ・ アイスブレイク・自己紹介	未来洞察インプット & 課題の抽出 ・ 未来洞察インプット ・ 課題発見ワークショップ ※ 18:00~懇親会を予定	未来生活の デザイン ・ 未来生活デザインワーク ・ プレゼンテーション&講評
オンライン形式	会場集合形式 @ 京都大学 百周年時計台記念館 (吉田キャンパス)	

※内容は状況により変更する場合がございますのでご了承ください。

開催要項

詳細はWebをご覧ください。 <https://designinnovation.jp/topics/2024/05/pdc011.html>



想定参加者	一定の業務経験を有する若手(入社~15年)以上の方で、以下の何れかに該当する方 ・ イノベーションに意欲がある ・ 異業種とのコラボレーションに関心がある ※社内への波及効果を高めるため、各社2名以上でのご参加をおすすめいたします
参加メリット	・ デザインイノベーションの方法論、各種デザイン手法の習得 ・ 異業種とのコラボレーション力の獲得と人的ネットワーク構築 ・ 新しいビジネス視点の獲得
参加費	S会員 無料 A・E特別会員 150,000円 B会員 180,000円 非会員 210,000円 学生(※)(若千名) 無料 ※京都大学デザイン学大学院連携プログラム 参画専攻に所属の学生、および京都大学デザイン学コース履修者 お支払い方法は請求書払いとなります。開催後に請求書をお送りいたします。
申込方法	https://pro.form-mailer.jp/fms/c035a73d313236 からお申し込みください。(締切:7月5日(金)) ※「企業から〇名」という形で、先に参加枠の仮申し込みをしていただくことも可能です